

平成 27 年度第 2 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 27 年 5 月 9 日（土） 9 時 30 分～12 時
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 平成 27 年度青森市子ども会議委員 18 名（欠席者 10 名）
平成 27 年度青森市子どもサポーター3 名（欠席者 3 名）
事務局 5 名
- 4 活動内容 ・今年度の子ども会議活動テーマの決定
・活動テーマごとのグループ編成
・ねぶた祭り参加時に着用する T シャツデザインについての話し合い

5 開催概要

第 2 回会議の前半では、今年度の活動内容である「身の回りで興味・関心のあること」の活動テーマについて話し合いを行いました。話し合いの司会進行や書記係は子ども会議委員自らが務めました。

まず、子どもたちから事前に提出してもらった「子どもたちの提案による主体的な活動テーマ」を見てもらい、みんなで話し合いながらこのほかに案はないか、集約できるものはないかなど、テーマについての意見をもらいました。

H27.5.9
第2回子ども会議

子どもたちの提案による主体的な活動テーマ 《身の回りの興味のあることをテーマとした活動案》

『普及・啓発』 に 関 係 す る テ マ	『安全』 に 関 係 す る テ マ	『文化』 に 関 係 す る テ マ	『環境』・『交流』 に 関 係 す る テ マ	『健康』・『食』 に 関 係 す る テ マ	『まちづくり』 に 関 係 す る テ マ
<p>ねぶた参加による子どもの権利の普及啓発活動 （ねぶたから来た人やいろいろな人を知ってもらえるから）</p> <p>子どもの権利の普及啓発活動（今までと違う方法） （学級担任の先生は、イベントやチラシのことは覚えていても、どういふことをしているか、どういふ会議なのかは知らないと言っていたから）</p>	<p>交通安全に関する活動 （事故が多く、危険運転をよく目撃しているから）</p> <p>冬の道路の整備に関する活動 （歩道に雪山があり通れないから、車道も歩いて転んでいる人がいて危険だから）</p> <p>安全な雪かきを学び広める活動 （毎年ニュースで事故が起きているのを聞くから）</p> <p>防災に関する活動</p>	<p>青森の特産品や名物の PR 活動 （青森市民に青森の特産品や名物が多く知られていないから）</p> <p>青森の植物に関する活動 （花や木がたくさんありきれいな市だと聞いたり、花の名前を知らない人が多いと聞いたりから）</p> <p>雪の有効利用に関する活動 （青森は夏は暑いし、冬は寒いから、雪を上手に活用できたらいいと聞いたりから）</p> <p>青森の良いところの調査活動 （子どもたちが進んだりする場所が知られていないので、もっと進んだりできるように調べてほしいと聞いたりから）</p>	<p>節水・節電に関する活動 （水を出しっぱなしにしている人が多い、水や電気を大切にしたい）</p> <p>他市町村や他県の人との交流 （小学生や一般市民と話をするイベントにした方がいい、長野県のツエニアリダーとの交流会のような他県の人との情報交換もできたらいい）</p> <p>あいさつに関する活動 （青森、近所の人とあいさつする人が少ない人多いように感じたから）</p> <p>スマートフォン・タブレットの使い方に関する活動 （何時でも検索する中高生が多いから）</p>	<p>合宿による交流 （合宿をするとき、みんなと仲長くなって、絆が深まるし、楽しそうだから）</p> <p>他市町村や他県の人との交流 （小学生や一般市民と話をするイベントにした方がいい、長野県のツエニアリダーとの交流会のような他県の人との情報交換もできたらいい）</p> <p>短命泉返上に関する活動 （短命や肥海泉の問題をなくしたいから）</p> <p>青森の健康と食に関する活動 （子どもたちから健康についての知識を聞いたり、聞くことが大分だと思うから「食生活」という観点から青森市民の健康について考えてみたい）</p> <p>地産地消に関する活動 （青森の健康と食に関する活動から、地産地消の動きも活発になり、青森市が活性化すればいいと聞いたりから）</p> <p>タバコのマナー向上活動 （タバコの煙草やタバコを吸ってほしいから）</p> <p>ポイ捨てを減らす活動 （ゴミをポイ捨てしない、もし捨てたら拾うことができる人が増えてほしいから）</p>	<p>人が集まりやすいまちづくりに関する活動 （子どもから大人まで交流できる場所が必要だと聞いたりから）</p> <p>青森の雇用に関する活動 （青森市で働くところを増やしたり、職場体験の場を確保してほしいと聞いたりから）</p> <p>交通に関する活動</p> <p>遊べる施設を増やす活動 （遊園地や小さい子から大人まで遊べるような施設があれば、観光客も増え、今よりも活気を帯びると聞いたりから）</p> <p>新青森駅周辺の活性化に関する活動 （東北新幹線の終点であるのに、周りの住宅地が多く、お店が増えれば、青森も豊かになると聞いたりから）</p>

子ども会議委員からの意見

- ・『環境』・『交流』に関するテーマのうち、「合宿による交流」や「他市町村や他県の人との交流」は、グループごとに行う活動テーマとは別に、子ども会議委員全員で行うことにする。
- ・『普及・啓発』に関するテーマは、グループごとに行う活動テーマとは別に、子ども会議委員全員で行うことにする。
- ・「タバコのマナー向上活動」は、『健康』・『食』に関するテーマよりも、『環境』・『交流』に関するテーマに入れたほうがいいのではないか。



子ども会議委員から出た意見を踏まえた結果、今年度は、次の4つの活動テーマとすることに決定しました。

- ① 『文化』 に関係するテーマ
- ② 『環境』・『交流』 に関係するテーマ
- ③ 『健康』・『食』 に関係するテーマ
- ④ 『まちづくり』 に関係するテーマ

H27.5.9
第2回子ども会議

『第2回子ども会議』で決定した4つの活動テーマ
《子どもたちの提案による身の回りで興味のあること》

① 『文化』 に関係するテーマ	② 『環境』・『交流』 に関係するテーマ	③ 『健康』・『食』 に関係するテーマ	④ 『まちづくり』 に関係するテーマ
<p>青森の植物に関する活動 （花や木がたくさんありきれいな市だと思うが、花の名前を知らない人が多いと思うから。）</p> <p>青森の特産品や名物のPR活動 （青森市民に青森の特産品や名物があり知られていないから。）</p>	<p>ポスター作成等によるポイ捨てを減らす活動 （ゴミをポイ捨てしない人も増えてほしいから。）</p> <p>節水・節電に関する活動 （水を出しっぱなしにしている人が多い。水や電気を大切にしたい。）</p>	<p>地産地消に関する活動 （青森の健康と食に関する活動から、地産地消の製品も活用になり、青森市が活性化すればいいと思うから。）</p> <p>青森の健康と食に関する活動 （子どものうちから健康についての知識を身につけることが大切だと思うから。「食生活」という観点から青森市民の健康について考えてみたい。）</p>	<p>人が集まりやすいまちづくりに関する活動 （子どもから大人まで交流できる場所が必要だと思っただけ。）</p> <p>遊べる施設を増やす活動 （遊べる施設がいろいろあるけど、大人まで遊べるような施設を増やしてほしいから。）</p>
<p>青森の良いところの調査活動 （子どもたちが知らない場所や場所が写っているのでもっと様々なところを遊びに行けるようにしたいと思うから。）</p> <p>雪の有効利用に関する活動 （雪は夏は暑いし、冬は寒いから、雪を上手に活用できたらいいと思うから。）</p>	<p>タバコのマナー向上活動 （タバコの煙が臭いや迷惑さを知ってほしいから。）</p> <p>あいさつに関する活動 （職場、近所の人ともあいさつを交わさない人が多いように感じたから。）</p> <p>スマートフォン・タブレットの使い方に関する活動 （長時間も学習する中高生が多いから。）</p>	<p>短命県返上に関する活動 （短命や肥満児の問題をなくしたいから。）</p> <p>特産品を使ったレシピを作成する活動</p> <p>ドッジボールなどの運動を通じた健康に関する活動</p>	<p>青森の雇用に関する活動 （青森市で働くところを増やしたい、身体を鍛えたいと思っただけ。）</p> <p>交通に関する活動</p>

次に、自分が一番興味のある活動してみたいテーマを決め、それぞれのグループに分かれもらい、どのような活動をしたかについて意見交換をしました。各グループの具体的な活動内容については、次回以降も引き続き話し合いの場を設け、決めていくこととしています。

続いて、昨年からはまった、「ねぶた祭り参加による子どもの権利の普及啓発活動」のときに着用する T シャツのデザインについての話し合いをしました。

前回の会議でデザイン案を考えてくれることになった 4 名の委員から提出されたデザイン案を皆さんに見てもらい、どのデザインが良いのか確認しました。それぞれが個性的でとても素敵なデザインでしたが、話し合いの結果、今年度も昨年度に引き続き、「けんりはかせ」をメインにした T シャツデザインが良いという声が多数を占めました。

また、T シャツのカラーについての話し合いも行われ、多数決により黒地にピンクのプリントとすることに決定しました。

今回の話し合いの結果を踏まえ、子ども会議委員が改めてデザインした T シャツ案を次回会議で発表することとし、T シャツデザイン案についての話し合いを終えました。



最後に、事務局から、他市等で同じような活動をしている子どもたちとの交流について、今年度も実施する意思があることを確認し、第 2 回の会議は終了しました。

次回の会議では、子ども会議委員の皆さんに子どもの権利についての理解を深めていただくために、子どもの権利擁護委員を講師にお招きして、子どもの権利に関する学習会などの活動を予定しています。